

2007年11月

(社) 日本経済団体連合会

事務総長 中村 芳夫



「フランス高等科学研究所 (IHES) ジャパン・ファンド」
への募金協力をお願い

拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、純粋数学（他に理論物理学と生命科学）の研究を主とするフランス高等科学研究所が、2008年に創立50周年を迎えます。これを機に同研究所では共同研究を行う日本人研究者を定期的に招聘することを目的とする、総額200万ユーロ（約3億2,000万円）のジャパン・ファンド（日本基金）を設けることとなりました。これに関連して、この程、ファンドの半額について日本企業の協力を得たいとの依頼がありました。

同研究所は、広中平祐教授をはじめ多くの日本の研究者を受け入れるほか、わが国の大学、研究所と密接な関係を築き、長年、日本とフランスの数学界の研究協力に寄与するなど、純粋数学の発展に貢献しています。このことから、同基金の設立は、日本の先端数学レベルの向上・維持にとってたいへん意義の深いことと考えられます。

つきましては、本件につき関係者よりご協力の依頼がありました際には、何卒趣旨をご理解いただき、格別のご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬 具

2007年11月 日

IHES ジャパン・ファンド
募金委員会委員長

張 富士夫

(トヨタ自動車株式会社取締役会長)

「フランス高等科学研究所 (IHES) ジャパン・ファンド」への協力方お願いの件

拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、フランスの公益法人で、世界の最先端を行く、数学研究を主とした(他に理論物理学と理論生物学も研究)フランス高等科学研究所 (IHES、詳細は別添をご参照下さい)が、2008年に創立50周年を迎えるに当たり、同研究所において共同研究を行う日本の数学者を定期的に招聘する目的で、ジャパン・ファンド(日本基金)を設けることになり、総額200万ユーロ(約3億2000万円)の寄附を募ることとなりました。半額をフランスの企業から、残り半額を主に日本の企業からの寄附に依りたいとの希望であります。

近年、生産性の向上、先端技術開発や金融工学の分野などで、数学の役割は特にその重要性を増し、わが国企業の国際競争力維持のためにも、その発展は不可欠で、その意味からも、日本人数学者の海外研究を支援する意義は大きいと思慮されます。さらに、明2008年が日仏修好150周年に当たることもあり、フランス政府の意向も受けて、日本における募金委員会が組成され、私が、当該委員会の委員長をお引受けすることになりました。

つきましては、諸事ご多端の折まことに恐縮に存じますが、なにとぞ趣旨ご賢察の上、下記要領にてご協力賜りますよう、募金委員会を代表して、お願い申し上げます。

なお、この募金は、特定公益増進法人である(社)海外事業活動協議会(CBCC)を通じてフランスIHESに送金いたしますので、損金算入扱いとなります。

敬具